



NetApp Replicationのドキュメント

NetApp Replication

NetApp
October 14, 2025

目次

NetApp Replicationのドキュメント	1
リリース ノート	2
NetApp Replicationの新機能	2
2025年10月6日	2
2022年9月18日	2
2022年7月31日	2
2021年9月2日	2
2021年5月5日	3
始めましょう	4
NetApp Replicationについて学ぶ	4
NetApp Console	4
機能	4
料金	4
サポートされているシステム	4
データ複製の仕組み	5
サポートされているデータ保護構成	5
NetApp Backup and Recoveryを使用してデータを複製する	5
NetApp Replicationにログイン	6
NetApp Replicationでデータレプリケーションを設定する	6
ステップ1: データ複製要件を確認する	6
ステップ2: システム間でデータを複製する	7
NetApp Replicationでデータレプリケーションを管理する	9
詳細情報	11
NetApp Replicationで使用するレプリケーション ポリシーについて学習します	11
レプリケーションポリシーは	11
レプリケーションポリシーの種類	12
NetApp Replicationで使用するバックアップポリシーについて学習します	13
スナップショットコピーラベルとバックアップポリシーの関係を理解する	13
デフォルトポリシーとカスタムポリシー	14
知識とサポート	15
サポートに登録する	15
サポート登録の概要	15
NetAppサポートのためにBlueXPに登録する	15
Cloud Volumes ONTAPサポートに NSS 認証情報を関連付ける	18
ヘルプを受ける	19
クラウドプロバイダーのファイルサービスのサポートを受ける	19
セルフサポートオプションを使用する	20
NetAppサポートでケースを作成する	20
サポートケースを管理する（プレビュー）	22

法律上の表示	25
著作権	25
商標	25
特許	25
プライバシー ポリシー	25
オープンソース	25

NetApp Replicationのドキュメント

リリース ノート

NetApp Replicationの新機能

NetApp Replicationの新機能について説明します。

2025年10月6日

BlueXP replicationはNetApp Replicationになりました

BlueXP replicationがNetApp Replicationに変更されました。

BlueXPはNetApp Consoleになりました

NetApp Consoleは、強化され再構築されたBlueXP基盤上に構築され、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズ グレードのNetAppストレージとNetApp Data Servicesの集中管理を提供し、リアルタイムの分析情報、より高速なワークフロー、および高度なセキュリティとコンプライアンスを備えた簡素化された管理を実現します。

変更内容の詳細については、"[NetApp Consoleのリリースノート](#)"。

2022年9月18日

FSx for ONTAPからCloud Volumes ONTAPへ

Amazon FSx for ONTAPファイルシステムからCloud Volumes ONTAPにデータを複製できるようになりました。

"[データレプリケーションの設定方法を学ぶ](#)"。

2022年7月31日

データソースとしての **FSx for ONTAP**

Amazon FSx for ONTAPファイルシステムから次の宛先にデータをレプリケートできるようになりました。

- Amazon FSx for ONTAP
- オンプレミスのONTAPクラスター

"[データレプリケーションの設定方法を学ぶ](#)"。

2021年9月2日

Amazon FSx for ONTAPのサポート

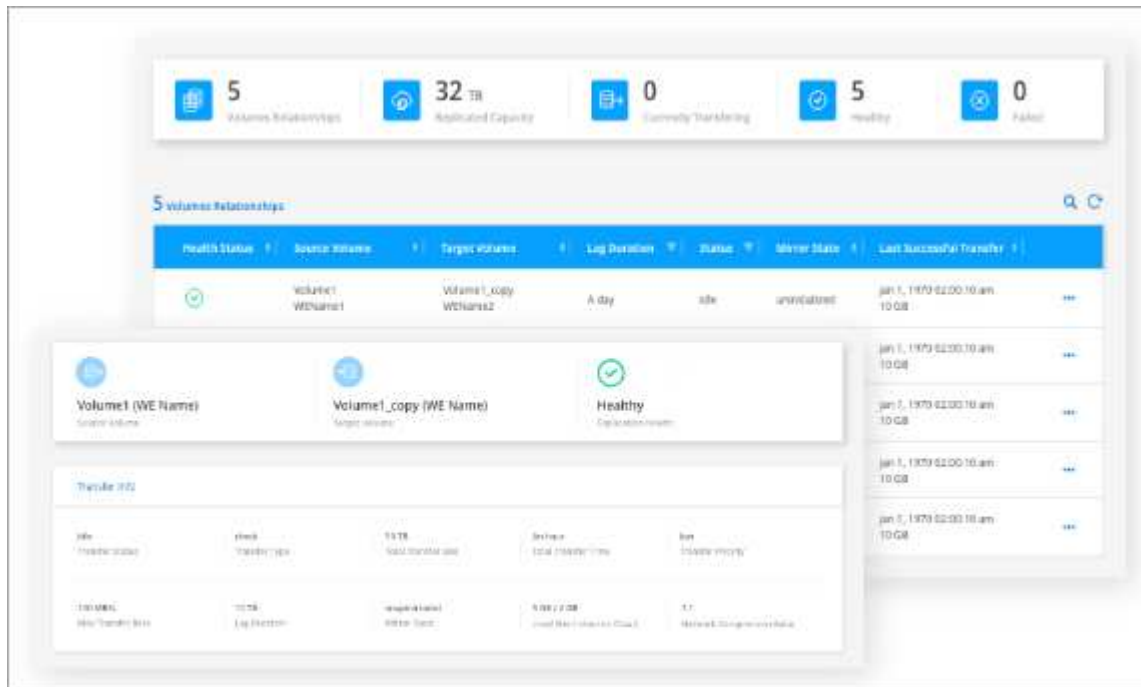
Cloud Volumes ONTAPシステムまたはオンプレミスのONTAPクラスターからAmazon FSx for ONTAPファイルシステムにデータを複製できるようになりました。

"データレプリケーションの設定方法を学ぶ"。

2021年5月5日

再設計されたインターフェース

使いやすさと現在のユーザー インターフェイスの外観と操作性に合わせて、レプリケーションを再設計しました。



始めましょう

NetApp Replicationについて学ぶ

NetApp SnapMirror は、LAN または WAN 経由で高速にデータを複製するため、仮想環境と従来の環境の両方で高いデータ可用性と高速なデータ複製を実現します。NetApp Replicationを使用してデータをNetAppストレージシステムに複製し、セカンダリ データを継続的に更新すると、データは最新の状態に保たれ、必要なときにいつでも利用できるようになります。外部のレプリケーション サーバーは必要ありません。

NetApp Console

NetApp Replicationは、NetApp Consoleからアクセスできます。

NetApp Consoleは、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズ グレードのNetAppストレージとデータ サービスの集中管理を提供します。NetAppデータ サービスにアクセスして使用するには、コンソールが必要です。管理インターフェースとして、1つのインターフェースから多数のストレージ リソースを管理できます。コンソール管理者は、企業内のすべてのシステムのストレージとサービスへのアクセスを制御できます。

NetApp Consoleの使用を開始するためにライセンスやサブスクリプションは必要ありません。ストレージ システムまたはNetAppデータ サービスへの接続を確保するためにクラウドにコンソール エージェントを展開する必要がある場合にのみ料金が発生します。ただし、コンソールからアクセスできる一部のNetAppデータ サービスは、ライセンスまたはサブスクリプションベースです。

詳細はこちら ["NetApp Console"](#)。

機能

- ONTAPストレージ システム間でデータを複製し、クラウドまたはクラウド間のバックアップと災害復旧をサポートします。
- 高可用性により DR 環境の信頼性を確保します。
- ONTAPストレージ間のブロックレベルのレプリケーションは高速かつ効率的で、DR とバックアップの両方に対してきめ細かなりカバリ ポイントが提供されます。

料金

NetApp はNetApp Replication の使用に対して料金を請求しませんが、適用されるデータの受信および送信料金についてはクラウド プロバイダーに確認する必要があります。

サポートされているシステム

NetApp Replicationでは、次の種類のシステム間でのデータ レプリケーションが可能になります。

ソースシステム	サポートされているターゲットシステム
Cloud Volumes ONTAP	• Amazon FSx for ONTAP • Cloud Volumes ONTAP • オンプレミスのONTAPクラスタ
オンプレミスのONTAPクラスタ	• Amazon FSx for ONTAP • Cloud Volumes ONTAP • オンプレミスのONTAPクラスタ
Amazon FSx for ONTAP	• Amazon FSx for ONTAP • Cloud Volumes ONTAP • オンプレミスのONTAPクラスタ

データ複製の仕組み

NetApp Replicationは、SnapMirrorおよびSnapVaultテクノロジーを使用して、個別のONTAPシステム上のボリューム間のデータ レプリケーションを簡素化します。ソース ボリュームとデスティネーション ボリュームを指定し、レプリケーション ポリシーとスケジュールを選択するだけです。

Cloud Volumes ONTAPの場合、NetApp Replication は必要なディスクを購入し、関係を構成し、レプリケーション ポリシーを適用して、ボリューム間のベースライン転送を開始します。



ベースライン転送には、ソース データの完全なコピーが含まれます。後続の転送にはソース データの差分コピーが含まれます。

サポートされているデータ保護構成

NetApp Replicationは、シンプル、ファンアウト、カスケードのデータ保護構成をサポートします。

- 単純な構成では、ボリューム A からボリューム B へのレプリケーションが行われます。
- ファンアウト構成では、ボリューム A から複数の宛先へのレプリケーションが行われます。
- カスケード構成では、ボリューム A からボリューム B へ、またボリューム B からボリューム C へレプリケーションが行われます。

NetApp Backup and Recoveryを使用してデータを複製する

NetApp Consoleエージェント 3.9.31 リリース以降、NetApp Backup and Recoveryでは、SnapMirrorおよびSnapVaultテクノロジーを使用して、別のONTAPシステム上のボリューム間でデータを複製できるようになりました。したがって、他のONTAPシステムにデータを複製し、同じデータのバックアップをオブジェクトストレージに作成する予定の場合は、["NetApp Backup and Recovery"](#)単一のサービスでデータ保護のニーズを管理できるようになります。

現在、次の機能はNetApp Replicationでのみサポートされており、NetApp Backup and Recoveryのレプリケーション機能を使用する場合はサポートされません。

- ボリューム A からボリューム B へ、そしてボリューム B からボリューム C へレプリケーションが行われるカスケード構成はサポートされていません。
- FSx for ONTAPシステムとの間でのデータの複製はサポートされていません。
- ボリュームの 1 回限りのレプリケーションの作成はサポートされていません。

したがって、この機能のいずれかが必要な場合は、NetApp Replication を使用してください。

NetApp Replicationにログイン

NetApp Consoleを使用してNetApp Replicationにログインします。

コンソールにログインするには、NetAppサポート サイトの認証情報を使用するか、電子メールとパスワードを使用してNetAppクラウド ログインにサインアップすることができます。"[ログインについて詳しくはこちら](#)"。

手順

1. ウェブブラウザを開いて、"[NetApp Console](#)"。

NetApp Consoleのログイン ページが表示されます。

2. コンソールにログインします。
3. コンソールの左側のナビゲーションから、保護 > レプリケーション を選択します。

NetApp Replicationでデータレプリケーションを設定する

NetApp Replicationを使用すると、データ転送用の 1 回限りのデータ レプリケーション、または災害復旧や長期保存用の定期的なスケジュールを選択して、ONTAPシステム間でデータを複製できます。たとえば、災害復旧のためにオンプレミスのONTAPシステムからCloud Volumes ONTAPへのデータ レプリケーションを設定できます。

ステップ1: データ複製要件を確認する

データを複製する前に、Cloud Volumes ONTAP、オンプレミスのONTAPクラスター、またはAmazon FSx for ONTAPの特定の要件が満たされていることを確認する必要があります。

システム

まだ行っていない場合は、データ レプリケーション関係のソースとターゲットのシステムを作成する必要があります。

- "[Amazon FSx for ONTAPシステムを作成する](#)"
- "[Cloud Volumes ONTAPシステムを作成する](#)"
- "[既存のCloud Volumes ONTAPシステムを追加する](#)"
- "[ONTAPクラスターの検出](#)"

バージョン要件

データを複製する前に、ソース ボリュームと宛先ボリュームで互換性のあるONTAPバージョンが実行されていることを確認する必要があります。

["SnapMirror関係に互換性のあるONTAPバージョンを表示する"](#)

Cloud Volumes ONTAP固有の要件

- インスタンスのセキュリティ グループには、必要な受信ルールと送信ルール (具体的には、ICMP とポート 11104 および 11105 のルール) が含まれている必要があります。

これらのルールは、事前定義されたセキュリティ グループに含まれています。

- 異なるサブネットにある 2 つのCloud Volumes ONTAPシステム間でデータを複製するには、サブネットと一緒にルーティングする必要があります (これがデフォルト設定です)。
- 異なるクラウド プロバイダーの 2 つのCloud Volumes ONTAPシステム間でデータを複製するには、仮想ネットワーク間に VPN 接続が必要です。

ONTAPクラスタ固有の要件

- アクティブなSnapMirrorライセンスがインストールされている必要があります。
- クラスタがオンプレミスにある場合は、企業ネットワークからクラウド内の仮想ネットワークへの接続が必要です。これは通常、VPN 接続です。
- ONTAPクラスタは、追加のサブネット、ポート、ファイアウォール、およびクラスタの要件を満たす必要があります。

["ONTAPドキュメントでクラスタピアリングの前提条件を確認する"](#)

Amazon FSx for ONTAP固有の要件

- Cloud Volumes ONTAP が関係の一部である場合は、VPC ピアリングを有効にするか、Transit Gateway を使用して、VPC 間の接続を確保します。
- オンプレミスのONTAPクラスタが関係の一部である場合は、Direct Connect または VPN 接続を使用して、オンプレミス ネットワークと AWS VPC 間の接続を確保します。

ステップ2: システム間でデータを複製する

クラウドとの間でデータを移動する際に役立つ 1 回限りのデータ レプリケーション、または災害復旧や長期保存に役立つ定期的なスケジュールを選択して、データをレプリケートできます。

手順

1. ナビゲーション メニューから、ストレージ > 管理 を選択します。
2. [システム] ページで、ソース ボリュームを含むシステムを選択し、ボリュームを複製するシステムにドラッグして、[レプリケーション] を選択します。

残りの手順では、Cloud Volumes ONTAPまたはオンプレミスのONTAPクラスタ間の同期関係を作成する方法の例を示します。

3. ソースおよび宛先ピアリング設定: このページが表示されたら、クラスタ ピア関係のすべてのクラスタ間 LIF を選択します。

クラスタ間ネットワークは、クラスタ ピアがペアワイズ フル メッシュ接続を持つように構成する必要があります。つまり、クラスタ ピア関係にある各クラスタ ペアは、すべてのクラスタ間 LIF 間で接続が確立されます。

これらのページは、複数の LIF を持つ ONTAP クラスタがソースまたはデスティネーションである場合に表示されます。

4. ソースボリュームの選択: 複製するボリュームを選択します。
5. 宛先ディスク タイプと階層化: ターゲットが Cloud Volumes ONTAP システムの場合は、宛先ディスク タイプを選択し、データ階層化を有効にするかどうかを選択します。
6. 宛先ボリューム名: 宛先ボリューム名を指定し、宛先アグリゲートを選択します。

宛先が ONTAP クラスタの場合、宛先ストレージ VM も指定する必要があります。

7. 最大転送速度: データを転送できる最大速度 (メガバイト/秒) を指定します。

転送速度を制限する必要があります。無制限のレートは、他のアプリケーションのパフォーマンスに悪影響を与える可能性があり、インターネットのパフォーマンスにも影響を与える可能性があります。

8. レプリケーション ポリシー: 既定のポリシーを選択するか、追加ポリシー を選択してから、高度なポリシーのいずれかを選択します。

ヘルプが必要な場合は、["レプリケーションポリシーについて学ぶ"](#)。

カスタム バックアップ (SnapVault) ポリシーを選択した場合、ポリシーに関連付けられたラベルは、ソース ボリューム上のスナップショット コピーのラベルと一致する必要があります。詳細については、["バックアップポリシーの仕組みを学ぶ"](#)。

9. スケジュール: 1 回限りのコピーまたは定期的なスケジュールを選択します。

いくつかのデフォルトのスケジュールが利用可能です。別のスケジュールが必要な場合は、System Manager を使用して、*destination* クラスタに新しいスケジュールを作成する必要があります。

10. 確認: 選択内容を確認し、[実行] を選択します。

結果

NetApp Replication はデータ レプリケーション プロセスを開始します。NetApp Replication からボリューム関係の詳細を表示できます。

NetApp Replicationでデータレプリケーションを管理する

2つのシステム間のデータレプリケーションを設定したら、NetApp Replicationからデータレプリケーションのスケジュールと関係を管理できます。

手順

1. "NetApp Replicationにログイン"。
2. データレプリケーション関係のステータスを確認し、正常であることを確認します。



関係のステータスがアイドルで、ミラー状態が初期化されていない場合は、定義されたスケジュールに従ってデータレプリケーションが実行されるように、宛先システムから関係を初期化する必要があります。System Manager またはコマンドライン インターフェイス (CLI) を使用して関係を初期化できます。これらの状態は、宛先システムに障害が発生し、その後オンラインに戻ったときに発生することがあります。

3. ボリューム関係のアクション メニューを選択し、使用可能なアクションの1つを選択します。

次の表では、利用可能なアクションについて説明します。

アクション	説明
情報	ボリューム関係の詳細（転送情報、最終転送情報、ボリュームの詳細、関係に割り当てられた保護ポリシーに関する情報）を表示します。
解除	ソース ボリュームと宛先ボリュームの関係を解除し、データ アクセス用に宛先ボリュームをアクティブ化します。このオプションは通常、データの破損、誤った削除、オフライン状態などのイベントによりソース ボリュームがデータを提供できない場合に使用されます。 https://docs.netapp.com/us-en/ontap-sm-classic/volume-disaster-recovery/index.html ["ONTAPドキュメントで、データアクセス用に宛先ボリュームを設定し、ソースボリュームを再アクティブ化する方法について学習します。"]
再同期	ボリューム間の壊れた関係を再確立し、定義されたスケジュールに従ってデータのレプリケーションを再開します。  ボリュームを再同期すると、宛先ボリュームの内容がソース ボリュームの内容によって上書きされます。 逆再同期（宛先ボリュームからソースボリュームにデータを再同期する）を実行する方法については、 "ONTAPのドキュメント" 。
逆再同期	ソース ボリュームと宛先ボリュームの役割を逆にします。元のソース ボリュームの内容は、宛先ボリュームの内容によって上書きされます。これは、オフラインになったソース ボリュームを再アクティブ化する場合に役立ちます。最後のデータ複製からソース ボリュームが無効になった時点までの間に元のソース ボリュームに書き込まれたデータは保持されません。
スケジュールを編集	データ複製の異なるスケジュールを選択できるようになります。

アクション	説明
最大転送速度を編集	データを転送できる最大速度 (キロバイト/秒) を編集できます。
更新	増分転送を開始して、宛先ボリュームを更新します。
削除	ソース ボリュームと宛先ボリューム間のデータ保護関係を削除します。これにより、ボリューム間でデータのレプリケーションは行われなくなります。このアクションでは、データ アクセス用の宛先ボリュームはアクティブ化されません。

結果

アクションを選択すると、NetApp Replication関係またはスケジュールが更新されます。

詳細情報

NetApp Replicationで使用するレプリケーション ポリシーについて学習します

NetApp Replicationでデータ レプリケーションを設定するときに、レプリケーション ポリシーの選択に関する支援が必要になる場合があります。レプリケーション ポリシーは、ストレージ システムがソース ボリュームから宛先ボリュームにデータを複製する方法を定義します。

レプリケーションポリシーは

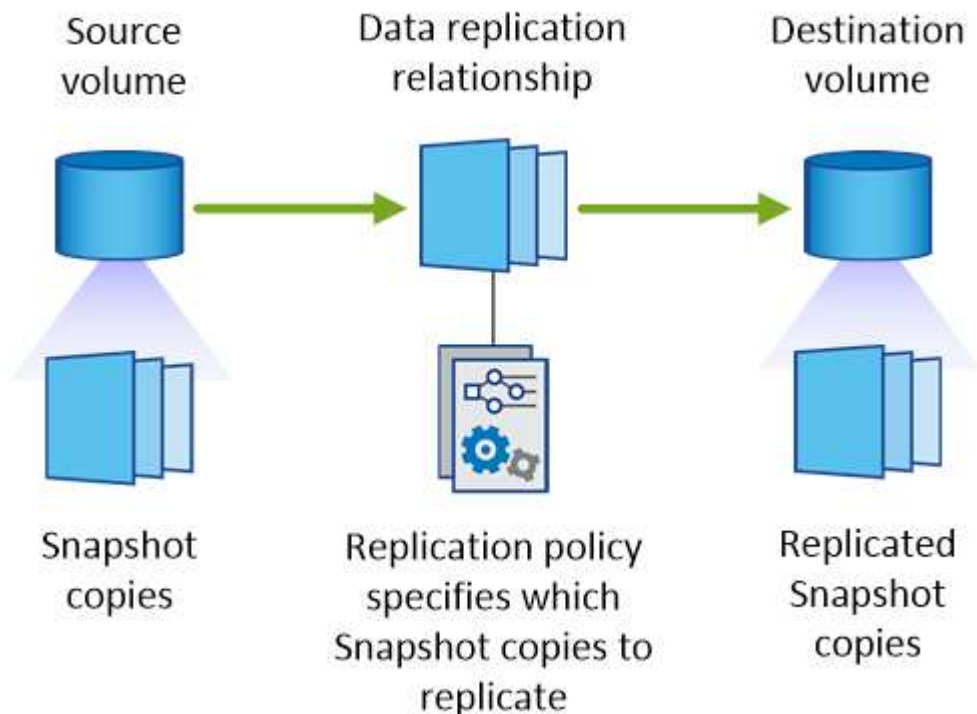
ONTAPオペレーティング システムは、スナップショット コピーと呼ばれるバックアップを自動的に作成します。スナップショット コピーは、ある時点でのファイル システムの状態をキャプチャするボリュームの読み取り専用イメージです。

システム間でデータを複製する場合、スナップショット コピーをソース ボリュームから宛先ボリュームに複製します。レプリケーション ポリシーは、ソース ボリュームから宛先ボリュームにレプリケートするスナップショット コピーを指定します。



レプリケーション ポリシーは、災害復旧保護とディスク間のバックアップおよびリカバリを提供するSnapMirrorおよびSnapVaultテクノロジーを活用しているため、保護 ポリシーとも呼ばれます。

次の図は、スナップショット コピーとレプリケーション ポリシーの関係を示しています。



レプリケーションポリシーの種類

レプリケーション ポリシーには 3 つの種類があります。

- ミラー ポリシーは、新しく作成されたスナップショットのコピーを宛先ボリュームに複製します。

これらのスナップショット コピーを使用すると、災害復旧や 1 回限りのデータ レプリケーションに備えてソース ボリュームを保護できます。データ アクセス用の宛先ボリュームはいつでもアクティブ化できます。

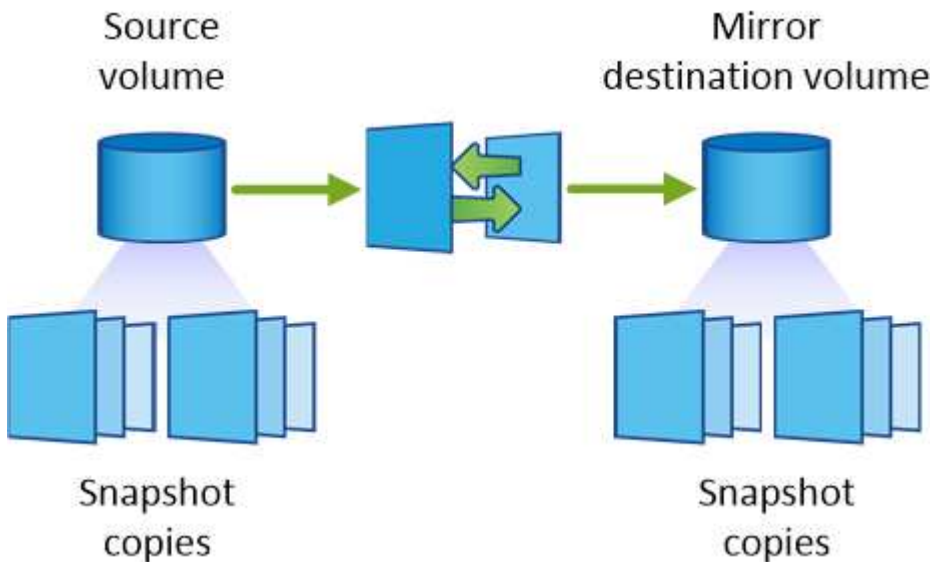
- バックアップ ポリシーは、特定のスナップショット コピーを宛先ボリュームに複製し、通常はソース ボリュームよりも長い期間保持します。

データが破損または失われた場合に、これらのスナップショット コピーからデータを復元し、標準コンプライアンスやその他のガバナンス関連の目的のために保持することができます。

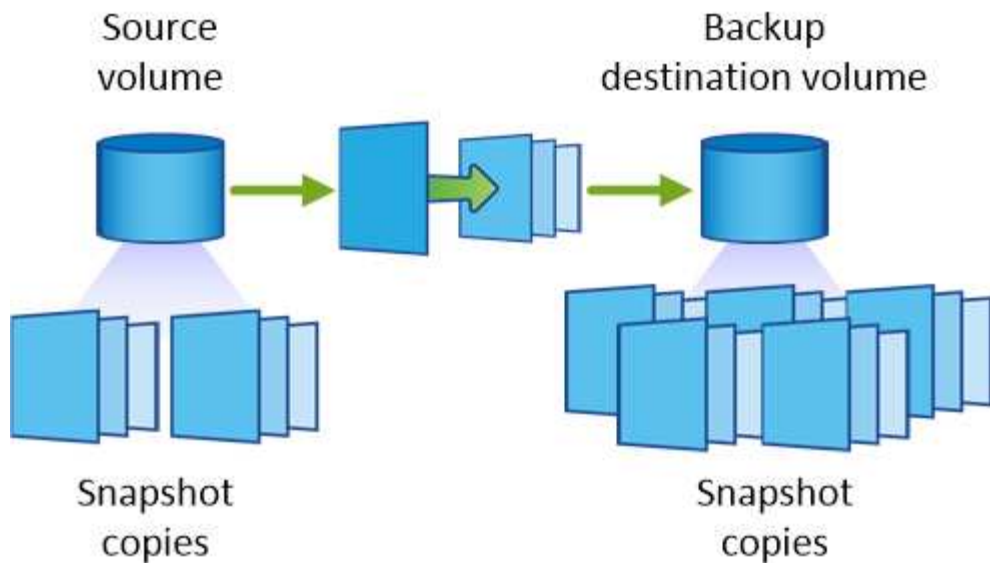
- ミラーおよびバックアップ ポリシーは、災害復旧と長期保存の両方を提供します。

各システムにはデフォルトのミラーおよびバックアップ ポリシーが含まれており、多くの状況で適切に機能します。カスタム ポリシーが必要な場合は、System Manager を使用して独自のポリシーを作成できます。

次の画像は、ミラー ポリシーとバックアップ ポリシーの違いを示しています。ミラー ポリシーは、ソース ボリュームで使用可能なスナップショット コピーをミラーリングします。



バックアップ ポリシーでは通常、スナップショット コピーがソース ボリューム上に保持される期間よりも長く保持されます。



NetApp Replicationで使用するバックアップポリシーについて学習します

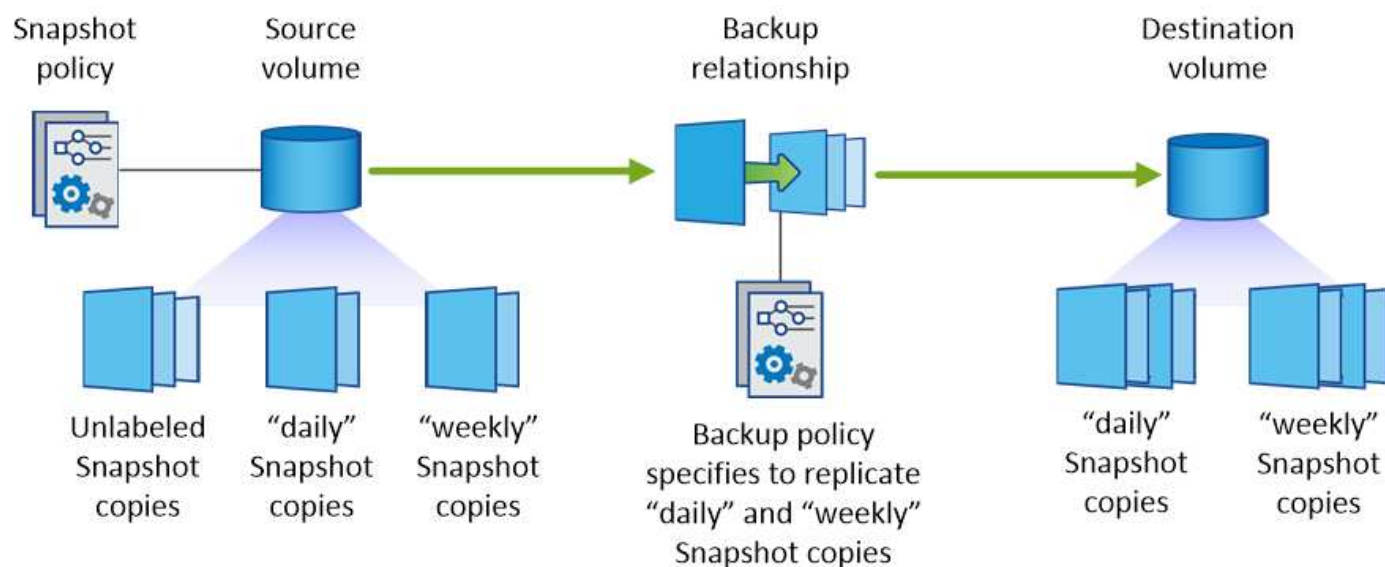
ミラー ポリシーとは異なり、バックアップ (SnapVault) ポリシーは、NetApp Replication を使用して、特定のスナップショット コピーを宛先ボリュームに複製します。デフォルトのポリシーの代わりに独自のポリシーを使用する場合は、バックアップ ポリシーがどのように機能するかを理解することが重要です。

スナップショットコピーラベルとバックアップポリシーの関係を理解する

スナップショット ポリシーは、システムがボリュームのスナップショット コピーを作成する方法を定義します。ポリシーでは、スナップショット コピーをいつ作成するか、いくつのコピーを保持するか、およびそれらのラベル付け方法を指定します。たとえば、システムは毎日午前 12 時 10 分にスナップショット コピーを 1 つ作成し、最新の 2 つのコピーを保持して、それらに「毎日」というラベルを付けます。

バックアップ ポリシーには、宛先ボリュームに複製するラベル付きスナップショット コピーと保持するコピーの数を指定するルールが含まれます。バックアップ ポリシーで定義されたラベルは、スナップショット ポリシーで定義された 1 つ以上のラベルと一致する必要があります。そうしないと、システムはスナップショットのコピーを複製できません。

たとえば、「毎日」および「毎週」のラベルを含むバックアップ ポリシーでは、それらのラベルのみを含むスナップショット コピーがレプリケーションされます。次の図に示すように、他のスナップショット コピーは複製されません。



デフォルトポリシーとカスタムポリシー

デフォルトのスナップショット ポリシーでは、時間別、日次、週次スナップショット コピーが作成され、時間別スナップショット コピーが 6 つ、日次スナップショット コピーが 2 つ、週次スナップショット コピーが 2 つ保持されます。

デフォルトのスナップショット ポリシーでは、デフォルトのバックアップ ポリシーを簡単に使用できます。デフォルトのバックアップ ポリシーでは、毎日および毎週のスナップショット コピーが複製され、毎日 7 個と毎週 52 個のスナップショット コピーが保持されます。

カスタム ポリシーを作成する場合、それらのポリシーで定義されたラベルが一致する必要があります。System Manager を使用してカスタム ポリシーを作成できます。

知識とサポート

サポートに登録する

BlueXPおよびそのストレージソリューションとサービスに固有のテクニカルサポートを受けるには、サポート登録が必要です。Cloud Volumes ONTAPシステムの主要なワークフローを有効にするには、サポート登録も必要です。

サポートに登録しても、クラウドプロバイダーファイルサービスに対するNetAppサポートは有効になりません。クラウドプロバイダーのファイルサービス、そのインフラストラクチャ、またはサービスを使用するソリューションに関連するテクニカルサポートについては、その製品のBlueXPドキュメントの「ヘルプの取得」を参照してください。

- ["Amazon FSx for ONTAP"](#)
- ["Azure NetApp Files"](#)
- ["Google Cloud NetApp Volumes"](#)

サポート登録の概要

サポート資格を有効にするには、次の2つの登録形式があります。

- BlueXPアカウントのシリアル番号を登録します (BlueXPのサポートリソースページにある20桁の960xxxxxxxxxシリアル番号)。

これは、BlueXP内のすべてのサービスに対する単一のサポートサブスクリプションIDとして機能します。各BlueXPアカウントレベルのサポートサブスクリプションを登録する必要があります。

- クラウドプロバイダーのマーケットプレイスで、サブスクリプションに関連付けられたCloud Volumes ONTAPシリアル番号を登録します (これらは20桁の909201xxxxxxxxシリアル番号です)。

これらのシリアル番号は一般にPAYGOシリアル番号と呼ばれ、Cloud Volumes ONTAPの展開時にBlueXPによって生成されます。

両方のタイプのシリアル番号を登録すると、サポートチケットの開設やケースの自動生成などの機能が有効になります。登録は、以下の説明に従ってNetAppサポートサイト (NSS) アカウントをBlueXPに追加することで完了します。

NetAppサポートのためにBlueXPに登録する

サポートに登録し、サポート資格を有効にするには、BlueXP組織 (またはアカウント) 内の1人のユーザーがNetAppサポートサイトアカウントをBlueXPログインに関連付ける必要があります。NetAppサポートに登録する方法は、NetAppサポートサイト (NSS) アカウントをすでにお持ちかどうかによって異なります。

NSSアカウントをお持ちの既存顧客

NSSアカウントをお持ちのNetAppのお客様の場合は、BlueXPを通じてサポートに登録するだけです。

手順

1. BlueXPコンソールの右上にある設定アイコンを選択し、*資格情報*を選択します。
2. *ユーザー資格情報*を選択します。
3. **NSS** 資格情報の追加 を選択し、NetAppサポート サイト (NSS) の認証プロンプトに従います。
4. 登録プロセスが成功したことを確認するには、[ヘルプ] アイコンを選択し、[サポート] を選択します。

リソース ページには、BlueXP組織がサポートに登録されていることが表示されます。



他のBlueXPユーザーは、NetAppサポート サイト アカウントをBlueXPログインに関連付けていない場合、同じサポート登録ステータスを表示しないことに注意してください。ただし、これはBlueXP組織がサポートに登録されていないことを意味するものではありません。組織内の 1 人のユーザーがこれらの手順を実行すれば、組織は登録されます。

既存の顧客だが**NSS**アカウントがない

既存のNetApp顧客であり、既存のライセンスとシリアル番号を持っているものの、NSS アカウントを持っていない場合は、NSS アカウントを作成し、それをBlueXPログインに関連付ける必要があります。

手順

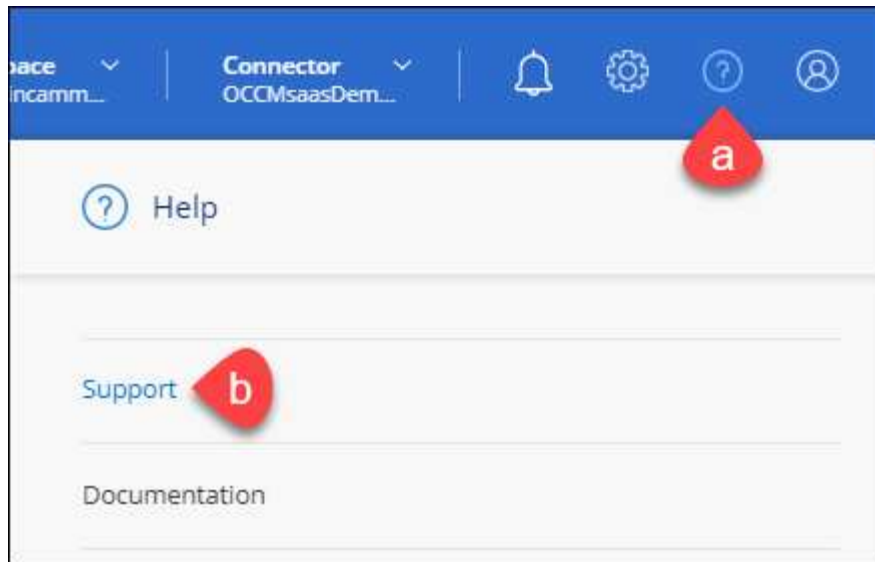
1. NetAppサポートサイトのアカウントを作成するには、"[NetAppサポートサイト ユーザー登録フォーム](#)"
 - a. 適切なユーザー レベル (通常は * NetApp顧客/エンド ユーザー*) を選択してください。
 - b. 上記で使ったBlueXPアカウントのシリアル番号 (960xxxx) を必ずシリアル番号フィールドにコピーしてください。これにより、アカウント処理が高速化されます。
2. 以下の手順を完了して、新しいNSSアカウントをBlueXPログインに関連付けます。[NSSアカウントをお持ちの既存顧客](#)。

NetAppの新着情報

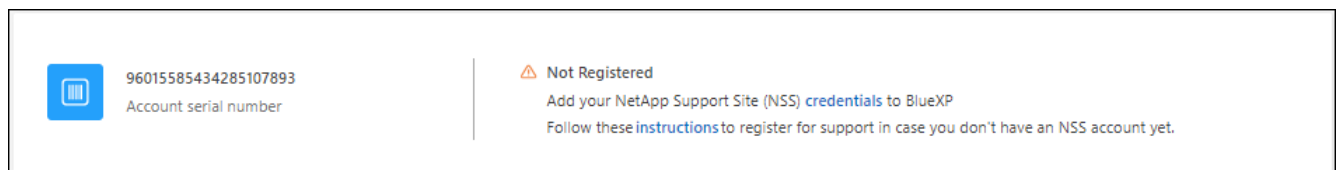
NetAppを初めて使用し、NSS アカウントをお持ちでない場合は、以下の手順に従ってください。

手順

1. BlueXPコンソールの右上にあるヘルプ アイコンを選択し、サポート を選択します。



2. サポート登録ページからアカウント ID シリアル番号を見つけます。



3. 移動先 "[NetAppのサポート登録サイト](#)"私は登録済みの**NetApp**顧客ではありません を選択します。
4. 必須フィールド（赤いアスタリスクが付いているフィールド）に入力します。
5. 製品ライン フィールドで、**Cloud Manager** を選択し、該当する請求プロバイダーを選択します。
6. 上記の手順 2 からアカウントのシリアル番号をコピーし、セキュリティ チェックを完了して、NetApp のグローバル データ プライバシー ポリシーを読んだことを確認します。

この安全な取引を完了するために、指定されたメールボックスに電子メールが直ちに送信されます。検証メールが数分以内に届かない場合は、必ずスパム フォルダーを確認してください。

7. メール内からアクションを確認します。

確認すると、リクエストがNetAppに送信され、NetAppサポート サイトのアカウントを作成することが推奨されます。

8. NetAppサポートサイトのアカウントを作成するには、"[NetAppサポートサイト ユーザー登録フォーム](#)"
 - a. 適切なユーザー レベル (通常は * NetApp顧客/エンド ユーザー*) を選択してください。
 - b. 上記で使ったアカウントのシリアル番号 (960xxxx) を必ずシリアル番号フィールドにコピーしてください。これにより処理速度が向上します。

終了後の操作

このプロセス中に、NetAppから連絡が来るはずです。これは、新規ユーザー向けの 1 回限りのオンボーディング演習です。

NetAppサポートサイトのアカウントを取得したら、以下の手順を実行してアカウントをBlueXPログインに関連付けます。[NSSアカウントをお持ちの既存顧客](#)。

Cloud Volumes ONTAPサポートに NSS 認証情報を関連付ける

Cloud Volumes ONTAPの次の主要なワークフローを有効にするには、NetAppサポート サイトの認証情報をBlueXP組織に関連付ける必要があります。

- 従量課金制のCloud Volumes ONTAPシステムをサポート対象として登録する

システムのサポートを有効にし、NetAppテクニカル サポート リソースにアクセスするには、NSS アカウントを提供する必要があります。

- BYOL（個人ライセンス使用）時にCloud Volumes ONTAP を導入する

BlueXP がライセンス キーをアップロードし、購入した期間のサブスクリプションを有効にするには、NSS アカウントを提供する必要があります。これには、期間更新の自動更新が含まれます。

- Cloud Volumes ONTAPソフトウェアを最新リリースにアップグレードする

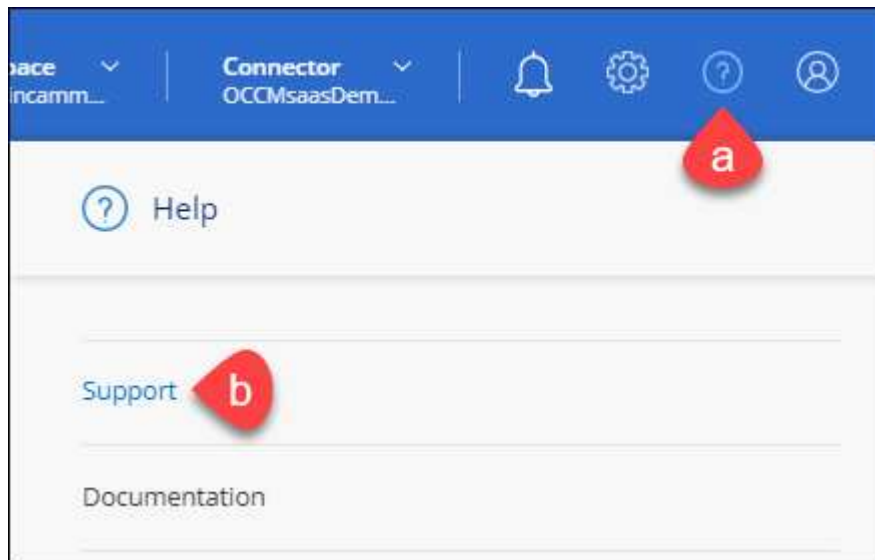
NSS 資格情報をBlueXP組織に関連付けることは、BlueXPユーザー ログインに関連付けられている NSS アカウントとは異なります。

これらの NSS 資格情報は、特定のBlueXP組織 ID に関連付けられています。BlueXP組織に属するユーザーは、サポート > **NSS 管理** からこれらの資格情報にアクセスできます。

- 顧客レベルのアカウントをお持ちの場合は、1 つ以上の NSS アカウントを追加できます。
- パートナー アカウントまたは再販業者アカウントをお持ちの場合は、1 つ以上の NSS アカウントを追加できますが、顧客レベルのアカウントと一緒に追加することはできません。

手順

1. BlueXPコンソールの右上にあるヘルプ アイコンを選択し、サポート を選択します。



2. *NSS管理 > NSSアカウントの追加*を選択します。
3. プロンプトが表示されたら、[続行] を選択して、Microsoft ログイン ページにリダイレクトします。

NetApp は、サポートとライセンスに固有の認証サービスの ID プロバイダーとして Microsoft Entra ID を使用します。

4. ログイン ページで、NetAppサポート サイトに登録した電子メール アドレスとパスワードを入力して、認証プロセスを実行します。

これらのアクションにより、BlueXP はライセンスのダウンロード、ソフトウェア アップグレードの検証、将来のサポート登録などに NSS アカウントを使用できるようになります。

次の点に注意してください。

- NSS アカウントは顧客レベルのアカウントである必要があります (ゲスト アカウントや一時アカウントではありません)。顧客レベルの NSS アカウントを複数持つことができます。
- パートナー レベルのアカウントの場合、NSS アカウントは 1 つだけ存在できます。顧客レベルの NSS アカウントを追加しようとしたときに、パートナー レベルのアカウントが存在する場合は、次のエラー メッセージが表示されます。

「異なるタイプの NSS ユーザーがすでに存在するため、このアカウントでは NSS 顧客タイプは許可されません。」

既存の顧客レベルの NSS アカウントがあり、パートナー レベルのアカウントを追加しようとする場合も同様です。

- ログインが成功すると、NetApp はNSS ユーザー名を保存します。

これは、メールにマッピングされるシステム生成の ID です。*NSS管理*ページでは、... メニュー。

- ログイン認証トークンを更新する必要がある場合は、... メニュー。

このオプションを使用すると、再度ログインするよう求められます。これらのアカウントのトークンは 90 日後に期限切れになることに注意してください。これを知らせる通知が投稿されます。

ヘルプを受ける

NetAppは、BlueXPとそのクラウドサービスに対して、様々なサポートを提供しています。ナレッジベース (KB) 記事やコミュニティフォーラムなど、充実した無料のセルフサポートオプションを24時間365日ご利用いただけます。サポート登録には、Webチケットによるリモートテクニカルサポートも含まれます。

クラウドプロバイダーのファイルサービスのサポートを受ける

クラウド プロバイダーのファイル サービス、そのインフラストラクチャ、またはサービスを使用するソリューションに関連するテクニカル サポートについては、その製品のBlueXPドキュメントの「ヘルプの取得」を参照してください。

- ["Amazon FSx for ONTAP"](#)
- ["Azure NetApp Files"](#)
- ["Google Cloud NetApp Volumes"](#)

BlueXPとそのストレージ ソリューションおよびサービスに固有のテクニカル サポートを受けるには、以下に説明するサポート オプションを使用してください。

セルフサポートオプションを使用する

以下のオプションは、24 時間 365 日無料でご利用いただけます。

- ドキュメント

現在表示しているBlueXPドキュメント。

- ["ナレッジベース"](#)

BlueXPナレッジベースを検索して、問題のトラブルシューティングに役立つ記事を見つけます。

- ["コミュニティ"](#)

BlueXPコミュニティに参加して、進行中のディスカッションをフォローしたり、新しいディスカッションを作成したりしてください。

NetAppサポートでケースを作成する

上記のセルフ サポート オプションに加えて、サポートを有効にした後は、NetAppサポート スペシャリストと協力して問題を解決することもできます。

始める前に

- *ケースの作成*機能を使用するには、まずNetAppサポート サイトの資格情報をBlueXPログインに関連付ける必要があります。 ["BlueXPログインに関連付けられた資格情報を管理する方法を学びます"](#)。
- シリアル番号を持つONTAPシステムのケースを開く場合は、NSS アカウントがそのシステムのシリアル番号に関連付けられている必要があります。

手順

1. BlueXPで、*ヘルプ > サポート*を選択します。
2. *リソース*ページで、テクニカル サポートの下にある利用可能なオプションのいずれかを選択します。
 - a. 電話で誰かと話したい場合は、「電話する」を選択してください。電話をかけることができる電話番号をリストした netapp.com のページに移動します。
 - b. NetAppサポート スペシャリストとのチケットを開くには、[ケースを作成] を選択します。
 - サービス: 問題が関連付けられているサービスを選択します。たとえば、サービス内のワークフローまたは機能に関するテクニカル サポートの問題に固有の場合はBlueXP。
 - 作業環境: ストレージに該当する場合は、* Cloud Volumes ONTAP* または * On-Prem* を選択し、関連する作業環境を選択します。

作業環境のリストは、サービスのトップバナーで選択したBlueXP組織 (またはアカウント)、プロジェクト (またはワークスペース)、およびコネクタの範囲内にあります。
 - ケースの優先度: ケースの優先度 (低、中、高、重大) を選択します。

これらの優先順位の詳細を確認するには、フィールド名の横にある情報アイコンの上にマウスを置きます。
 - 問題の説明: 該当するエラー メッセージや実行したトラブルシューティング手順など、問題の詳細

な説明を入力します。

- 追加のメールアドレス:この問題を他の人に知らせたい場合は、追加のメールアドレスを入力してください。
- 添付ファイル (オプション): 一度に 1 つずつ、最大 5 つの添付ファイルをアップロードします。

添付ファイルはファイルごとに 25 MB までに制限されます。サポートされているファイル拡張子は、txt、log、pdf、jpg/jpeg、rtf、doc/docx、xls/xlsx、csv です。

The screenshot shows a web form titled "ntapitdemo" and "NetApp Support Site Account". It contains several sections: "Service" and "Working Enviroment" (sic) dropdown menus, both with "Select" as the current choice; a "Case Priority" dropdown menu set to "Low - General guidance"; an "Issue Description" text area with a placeholder text; an "Additional Email Addresses (Optional)" text input field with "Type here" as a placeholder; and an "Attachment (Optional)" section with a file selection area showing "No files selected", an "Upload" button, and a trash icon.

終了後の操作

サポート ケース番号を示すポップアップが表示されます。NetAppサポート スペシャリストがお客様のケースを確認し、すぐにご連絡いたします。

サポート ケースの履歴については、設定 > タイムライン を選択し、「サポート ケースの作成」というアクションを探します。右端のボタンを使用すると、アクションを展開して詳細を表示できます。

ケースを作成しようとする、次のエラー メッセージが表示される場合があります。

「選択したサービスに対してケースを作成する権限がありません」

このエラーは、NSS アカウントとそれに関連付けられているレコード会社が、BlueXPアカウントのシリアル番号のレコード会社と同じではないことを意味している可能性があります (つまり、960xxxx) または作業環境のシリアル番号。次のいずれかのオプションを使用してサポートを求めることができます。

- 製品内チャットを使用する
- 非技術的なケースを提出する <https://mysupport.netapp.com/site/help>

サポートケースを管理する（プレビュー）

アクティブおよび解決済みのサポート ケースをBlueXPから直接表示および管理できます。NSS アカウントおよび会社に関連付けられたケースを管理できます。

ケース管理はプレビューとして利用できます。今後のリリースでは、このエクスペリエンスを改良し、機能強化を追加する予定です。製品内チャットを使用してフィードバックをお送りください。

次の点に注意してください。

- ページ上部のケース管理ダッシュボードには、次の 2 つのビューがあります。
 - 左側のビューには、指定したユーザー NSS アカウントによって過去 3 か月間に開かれたケースの合計が表示されます。
 - 右側のビューには、ユーザーの NSS アカウントに基づいて、会社レベルで過去 3 か月間に開かれたケースの合計が表示されます。

表の結果には、選択したビューに関連するケースが反映されます。

- 関心のある列を追加または削除したり、優先度やステータスなどの列の内容をフィルタリングしたりできます。その他の列は並べ替え機能のみを提供します。

詳細については、以下の手順をご覧ください。

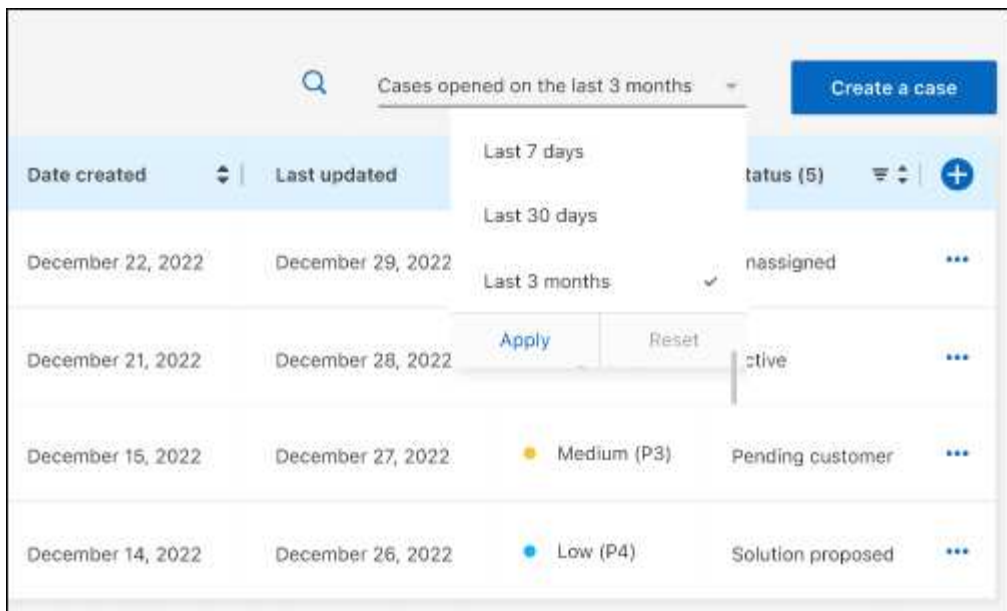
- ケースごとに、ケースメモを更新したり、まだ「クローズ」または「クローズ保留中」ステータスになっていないケースをクローズしたりする機能を提供します。

手順

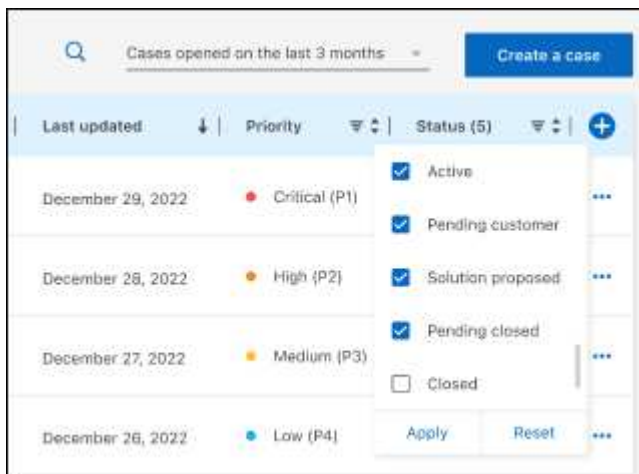
1. BlueXPで、*ヘルプ> サポート*を選択します。
2. *ケース管理*を選択し、プロンプトが表示されたら、NSS アカウントをBlueXPに追加します。

ケース管理 ページには、BlueXPユーザー アカウントに関連付けられている NSS アカウントに関連するオープン ケースが表示されます。これは、**NSS 管理** ページの上部に表示される NSS アカウントと同じです。

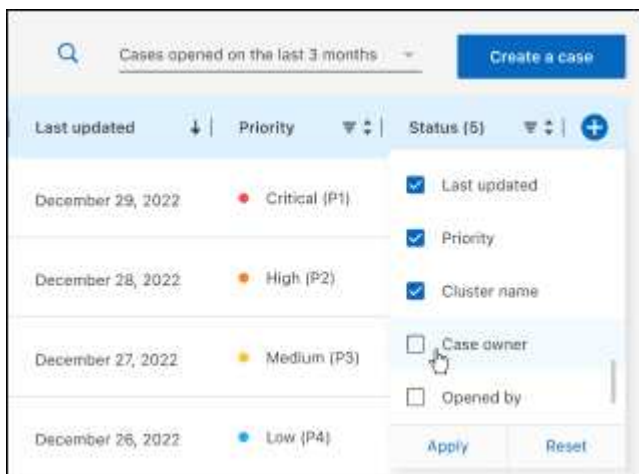
3. 必要に応じて、テーブルに表示される情報を変更します。
 - *組織のケース*の下で*表示*を選択すると、会社に関連付けられているすべてのケースが表示されます。
 - 正確な日付範囲を選択するか、別の期間を選択して日付範囲を変更します。



- 。列の内容をフィルタリングします。



- 。表に表示される列を変更するには、**+** 次に、表示する列を選択します。

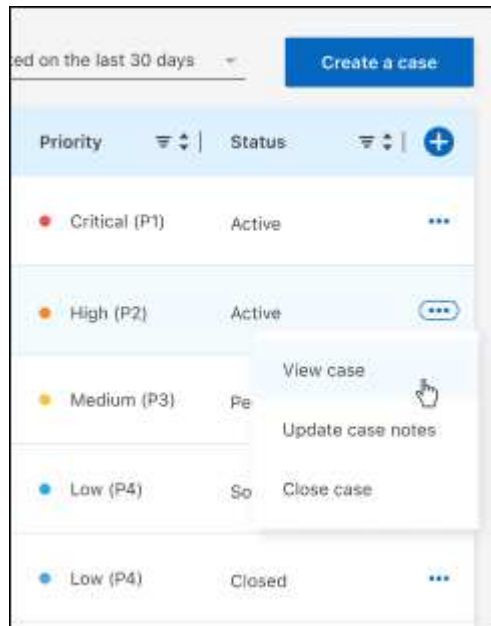


4. 既存のケースを管理するには、**...**利用可能なオプションのいずれかを選択します。

- ケースを表示: 特定のケースに関する詳細をすべて表示します。
- ケースノートを更新: 問題に関する追加の詳細を入力するか、*ファイルのアップロード*を選択して最大5つのファイルを添付します。

添付ファイルはファイルごとに 25 MB までに制限されます。サポートされているファイル拡張子は、txt、log、pdf、jpg/jpeg、rtf、doc/docx、xls/xlsx、csv です。

- ケースを閉じる: ケースを閉じる理由の詳細を入力し、[ケースを閉じる] を選択します。



法律上の表示

法的通知から、著作権情報、商標、特許などを確認できます。

著作権

["https://www.netapp.com/company/legal/copyright/"](https://www.netapp.com/company/legal/copyright/)

商標

NetApp、NetAppのロゴ、NetAppの商標一覧のページに掲載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。

["https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/"](https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/)

特許

現在NetAppが所有する特許の一覧は以下のページから閲覧できます。

<https://www.netapp.com/pdf.html?item=/media/11887-patentspage.pdf>

プライバシー ポリシー

["https://www.netapp.com/company/legal/privacy-policy/"](https://www.netapp.com/company/legal/privacy-policy/)

オープンソース

通知ファイルには、NetAppソフトウェアで使用するサードパーティの著作権およびライセンスに関する情報が提供されます。

["NetApp Consoleに関するお知らせ"](#)

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。